

製品名: 切断型 KLK11 (I54) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09003**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	KLK11
別名	KLK11; PRSS20; TLSP; Kallikrein-11; hK11; Hippostasin; Serine protease 20; Trypsin-like protease
遺伝子 ID	11012.0
SwissProt ID	Q9UBX7
免疫原	抗血清はヒトカリクレイン 11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 35-84

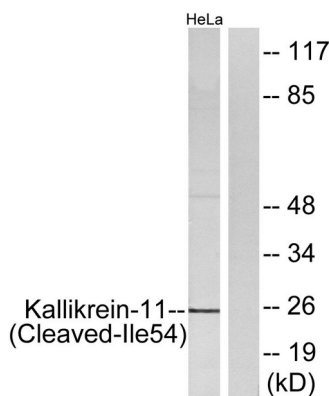
背景

カリクレインは、多様な生理機能を有するセリンプロテアーゼのサブグループです。多くのカリクレインが発がんに関与しているこ

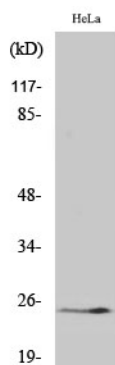
と、そして一部のカリクレインが新たな癌やその他の疾患バイオマーカーとなる可能性があることを示す証拠が増えています。この遺伝子は、19番染色体上のクラスターに位置する15のカリクレインサブファミリーメンバーの1つです。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なる発現を示す異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq提供、2009年11月],機能: 多機能プロテアーゼの可能性あり。カリクレインの基質である「bz-Phe-Arg-4-メチルグルタミン-7-アミド」を効率的に切断し、カリクレインおよびトリプシンの他の基質も弱く切断します。アルギニン残基の後ろの合成ペプチドを切断しますが、リジン残基の後ろのペプチドは切断しません。、PTM: KLK11の約40%は、アルギニン188番目以降の内部切断によって不活性化されます。このタンパク質分解による不活性化は、プラスミノゲンによって影響を受ける可能性があります。、類似性: ペプチダーゼS1ファミリーに属します。、類似性: ペプチダーゼS1ファミリーに属します。カリクレインサブファミリーに属します。、類似性: ペプチダーゼS1ドメインを1つ含みます。、組織特異性: 脳、皮膚、前立腺に発現します。アイソフォーム1は脳に、アイソフォーム2は前立腺に優先的に発現します。精漿中には、2~37µg/mL (タンパク質レベル) の濃度で存在します。、

研究分野

画像データ



エトポシド 25µM で 24 時間処理した HeLa 細胞ライセートを、カリクレイン-11 (Cleaved-Ile54) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



Cleaved-KLK11 (I54) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析